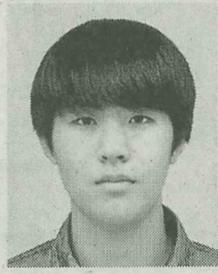


# 学生と教員の見方



【アピールポイント】  
映画を見るのが趣味です。時間のある日にはネットフリックスなどを見ています。

【教員による展開】  
(西村愛准教授)

050年までの100%循環経済の実現を目標に掲げているとされているが、これを達成するために、例えば資材のマテリアルパスポートの導入が進められている。このパスポートでは、

【学生の見方&考え方】  
(3年 大宮巧)

近年、気候変動やエネルギー問題への関心が高まる中、「環境都市」としての都市づくりが世界中で注目されている。環境都市とは、

のよつな、再生可能エネルギーの活用、公共交通の充実、緑地の拡大、廃棄物の削減など、さまざまな施策が求められる。

例えば、神奈川県藤沢市では、太陽光発電と蓄電池を備えたスマートハウスが並ぶ

「Fuji sawa スマステイナブル・スマートタウン」が注目を集めている。ここでは、エネルギーの地産地消として再生可能エネルギー利用率30%以上、CO<sub>2</sub>の削減、生活用水30%削減、CCP(ライフライン)

【教員による展開】  
環境都市のカギとなる循環型社会とは、限りある資源を効率的に活用し持続的に循環させながら利用する社会を意味し、その実現にはReduce(廃棄物の削減、Reuse(製品等の再利用)、Recycle(廃棄物の再生利用)の3Rが重要だ

とされている。例えば、不動産分野では、建材の廃材をチップにして再利用するなどの方法がある。また、企業、行政、市民一人ひとりの協力が不可欠である。都市の在り方を変えることは、ルール法等によって進められてきた。

## 循環型社会で環境都市実現へ

### マテリアルパスポートなど 世界各国でも取り組み加速

「Fuji sawa スマステイナブル・スマートタウン」が注目を集めている。ここでは、エネルギーの地産地消として再生可能エネルギー利用率30%以上、CO<sub>2</sub>の削減、生活用水30%削減、CCP(ライフライン)

しかし、環境都市の実現には課題も多い。設備面では、再生可能エネルギーの初期投資の大きさと住民の意識改革、維持管理のコスト負担など実現には時間と労力を要する。そのため

また、循環型社会の実現も踏まえて、日本での循環型社会の実現に向けた取り組みも一層充実していくことになると思われる。

また、循環型社会の実現も踏まえて、日本での循環型社会の実現に向けた取り組みも一層充実していくことになると思われる。

また、循環型社会の実現も踏まえて、日本での循環型社会の実現に向けた取り組みも一層充実していくことになると思われる。

## 環境にやさしいまちづくり①

用いたりする例がある。このように、再生可能エネルギーの活用、公共交通の充実、緑地の拡大、廃棄物の削減など、さまざまな施策が求められる。

例えば、神奈川県藤沢市では、太陽光発電と蓄電池を備えたスマートハウスが並ぶ

「Fuji sawa スマステイナブル・スマートタウン」が注目を集めている。ここでは、エネルギーの地産地消として再生可能エネルギー利用率30%以上、CO<sub>2</sub>の削減、生活用水30%削減、CCP(ライフライン)

また、循環型社会の実現も踏まえて、日本での循環型社会の実現に向けた取り組みも一層充実していくことになると思われる。

また、循環型社会の実現も踏まえて、日本での循環型社会の実現に向けた取り組みも一層充実していくことになると思われる。